

Libra | on

vol.40

<http://www.libra-sc.jp>

りぶらいおん

特集：図書館見学報告

みんなの森 ぎふメディアコスモス / 岐阜市立中央図書館



- りぶら中央図書館情報
- 私の一冊 vol.35
- 自分の命は自分で守ろう！
- 外国人のど自慢大会 vol.6 の報告

次年度りぶらサポータークラブは、『新世紀岡崎チャレンジ100』の事業として、『困ったときには図書館へ』の連続講座を開催します。

みんなの森 ぎふメディアコスモス / 岐阜市立中央図書館 見学報告書

りぶらサポータークラブ

「みんなの森 ぎふメディアコスモス」は、2015年7月に岐阜市にオープンしました。岡崎からも近く、「りぶら」と同じ図書館の複合施設でもありますので、12月13日に、りぶらサポータークラブの杉浦・戸松・小竹・山田と、市民活動センター長の鈴木千鶴さんの5名で見学に伺いました。

「みんなの森 ぎふメディアコスモス」は、「知の拠点」の役割を担う市立中央図書館と「絆の拠点」となる市民活動交流センター、多文化交流プラザ及び「文化の拠点」となる展示ギャラリー等からなる複合施設です。岐阜市の公共施設が隣接する場所に、広大な敷地にも恵まれ、公園の中の複合施設といった趣です。外観は斬新で、入館前からワクワクします。

入館して最初に目に入った看板には、来館者50万人達成(12/5)の文字。月10万人ペースでの来館者を得ていることが分かります。まず行政担当者の説明と質疑応答で、開館までの経緯や運営方法について伺いました。入館前に気になった、エントランスに出店している露天商について聞いてみると、「公共の公園に出店するのと同じ条件の出店料をいただいている」との事でした。この仕組みは、りぶらでも有効ではないかと思いました。その後、館内の案内があり、ホールやギャラリー・図書館・市民活動関連の施設等々をご紹介いただきました。

ホールの舞台の床には合板が敷かれていて、痛んだら板を替えるそうです。なかなか面白い発想だと思いました。また、ホールの真北にある搬入口は建物の中まで車を入れることができ、天候等に左右されずに搬入することができます。

ギャラリーは広く、多目的で使えるように見えました。館内での飲食スペースは、テラス等限られた場所だけということで、「りぶら」のような自由度ありません。館内に「ローソン」が入っているので、ギャラリーを含め、飲食可にしても面白いのではないかと思いました。



中央のエスカレーターを上がった2階フロアが図書館です。各テーマごとに、「グローブ」と呼ばれる大きな傘があり、その下が読書や展示スペースとなっています。「グローブ」ごとに、こども・ティーンズ・大人と分かれています。フロアは一体なので、どの年代の人も自由に本が選べるよさがありました。

各スペースのイスには素材や形に工夫があり、子どもは寝転がったり大人は座ると、それぞれの「グローブ」にワクワク感が演出されていました。また、中央の「グローブ」は展示スペースで、絵本から大人の本までコメントのついた本が展示してあり、読んでみたくなるように工夫されていました。「グローブ」



の中は明るいせいか、周りの配架スペースは少し暗い感じがしました。この明るさでいいのかなと思いましたが、全体に陰影のある空間になっていて、フロア全体に奥行きと居心地のよさを感じることができました。

図書館長は外部から招聘され、館長自らおはなし会で読み聞かせをするなど、積極的な運営をされているのがうらやましく思えました。



1階の市民活動のスペースに関しては、設計や運営について、あまり市民の意見が反映されているとは感じられませんでした。市民活動団体が年間登録して利用できる8つのワーキングスペース(デスク・イス・LAN回線・キャビネットなど)があるということでしたが、その他の団体の活動やミーティングの場所があるのが気になりました。机の並びの直ぐ傍にミーティングできそうなスペースがありましたが、そこは「行政のスペース」とのこと。ミーティングは他の会議室を借りて行うとのことでしたので、「りぶら」の市民活動コーナーほどの自由度はないようです。

乳幼児室は設備が乏しく、大きさや居心地・遊び道具などに物足りなさを感じました。行政職員だけの管理なので、おもちゃを置くとその消毒に手がかけられないということで、「りぶら」で託児ができるよさを再認識しました。



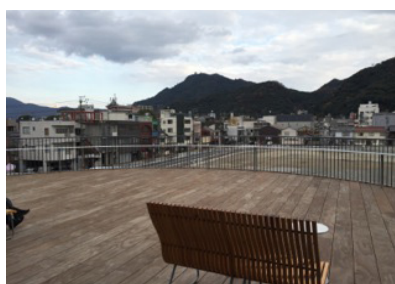
館内の見学後に、市民活動センター長である野尻氏のコーディネートで、「ぎふメディアコスモス」に関わっている市民活動団体の方々との交流会を持たせていただきました。野尻氏は「りぶら」の設計ワークショップのコーディネーターの一員だった方です。

岡崎市と同じように、市民活動団体の登録は積極的に呼びかけているようですが、館でのイベントは、行政主体で市民活動団体に参加を呼びかける形になっています。今回参加された方々は、それぞれに、これからの活動の在り方と行政との関わり方を模索しているようでした。市民が使いやすいようにするには、面倒でも市民を巻き込まなくてはいけないことがよくわかりました。市民活動団体の支援においてもそれは言えると思います。



建物のコンセプトが立派でデザインが素晴らしく、学ぶ点多々あった「ぎふメディアコスモス」でした。入館直後のワクワク感は「りぶら」以上でしたが、ハードに対するソフトの完成度は、これからまだまだ成長途中であることを感じました。個と公の利益バランスを考えながら協働することで、よりよいソフトができあがることと思います。

柳ヶ瀬には少し遠いので、まちの活性化に直接つながるわけではないようですが、官庁街の広い場所に生涯学習施設があるのは、市民にとって利用しやすい憩いの場になると思われます。斬新な設計の建物と、金華山を取り入れた景色も楽しめるテラスなど、とても魅力的です。図書館のフロアは、本を身近に一日ゆっくり過ごせる空間設計ですし、1階の「みんなの森」も、今後、どのようなイベントが企画され活用が進んでいくのか、とても楽しみです。

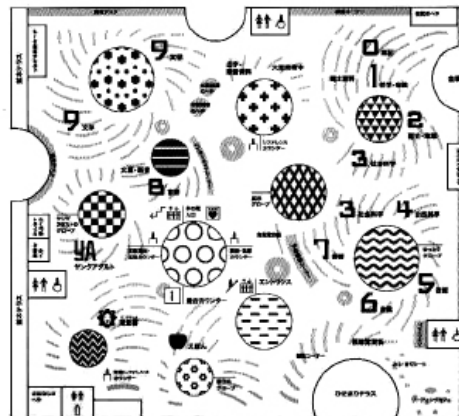


施設概要	
敷地面積	14,725.39 m ²
建築面積	7,363.84 m ² (本体棟+付属棟)
延床面積	15,295.04 m ² (本体棟+付属棟)
建物高さ	16.09m
主な用途	中央図書館 市民活動交流センター (多文化交流プラザを含む) 展示ギャラリー、ホール
構造	1階・M2階 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 2階 鉄骨造、木造(梁)
階数	地上2階 地下1階
設計期間	2011年2月～
工事期間	2013年7月～
設計	株式会社 伊東豊雄建築設計事務所



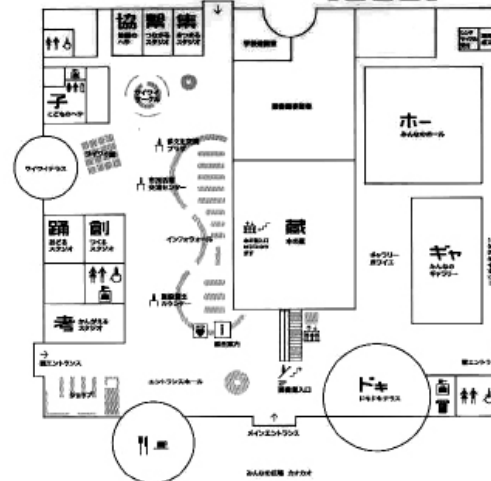
フロアMAP

2F



- 2Fフロア案内
- 総合カウンター
 - レファレンスカウンター
 - 児童レファレンスカウンター
 - みんなで学ぶへや
 - 研究のへや
 - みる・きくシート
 - インターネットコーナー
 - 外国語書のへや

1F



- 1Fフロア案内
- 総合案内
 - 施設貸出カウンター
 - 市民活動交流センター
 - 多文化交流プラザ
 - つくるスタジオ
 - インフォール
 - こどものへや
 - 図書のへや
 - みんなのホール
 - みんなのギャラリー
 - かんがえるスタジオ
 - おどるスタジオ
 - あつまるスタジオ
 - つながるスタジオ
 - ショップ
 - カフェ・レストラン



りぶら中央図書館情報

健康に関する資料をご活用下さい！



ポピュラーライブラリーの健康に関する資料が並んでいる書棚をご存知ですか。

(中央図書館 2階フロア 棚番号：15～17)

ここでは、健康な生活を送るために気をつけたいこと、病気予防や健康増進に役立つことなど、身近な健康に関する資料がそろっています。また、関心の高いテーマについては見出しを設け、探しやすくしてあります。どうぞお気軽にご利用ください。

棚番号 15

内科、外科、目・耳・鼻・歯の悩みなど病気かなと思った時や、気になる症状などについて参考になる資料があります。

※専門性の高い医学書は、1階の「医療情報コーナー」(棚番号 41) 及び 22、23 の書棚をご覧ください。

棚番号 16

医学エッセイ、民間療法、健康法（運動、ヨガ、脳トレなど）

棚番号 17

食品・栄養、漢方・アロマ・生薬、家庭医学、家庭看護

レファレンス事例集

春・秋になると叙勲・褒章、文化勲章などの受章のニュースがTVや新聞で報道されるのを目にします。栄典は、国家又は公共に対し功労のある方、社会の各分野における優れた行いのある方などを表彰するもので（内閣府 HP より）、これらの章を受章することは大変名誉なことですね。



質問	愛知県の叙勲等の受章者名を知りたい。
回答	<p>【データベース1・2】で新聞記事を検索。「愛知 叙勲 褒章」などのキーワードで検索すると過去の受章者が分かる。</p> <p>【データベース3】で「叙位 叙勲」「褒章」と検索すると、叙位・叙勲者、褒章受章者の氏名が表示される。ただし、氏名と位の記載はあるが、地域別にはなっていない。</p> <p>【URL 1】内閣府ホームページに「平成〇〇年秋（春）の叙勲等の受章者及び受章者名簿」があり、勲章別、都道府県別に受章者名簿が掲載されている。（過去5年分あり。）</p> <p>【資料1】受章者は載っていないが、褒章・勲章、制度について詳しく分かる資料もあり。</p>
キーワード	「褒章」「勲章」「栄典」
参考資料	<p>【データベース1】中日記事データベース</p> <p>【データベース2】朝日新聞記事データベース「聞蔵」II ビジュアル for Libraries</p> <p>【データベース3】官報情報検索サービス</p> <p>【URL 1】内閣府ホームページ：日本の勲章・褒章 http://www8.cao.go.jp/shokun/index.html (2015.1 確認)</p> <p>【資料1】『勲章と褒章』佐藤 正紀／著／時事画報社／2007年／317.5ク</p>

岡崎の古い写真を募集しています！

岡崎むかし館では、市制 100 周年記念事業《未来に残すみんなの岡崎「百選」》と題して、時代とともに移り変わる岡崎の姿をとらえた写真を 3 月 31 日まで募集しています。対象となる写真は、以下の 3 点を満たすものです。

- ①撮影年、場所などが特定できるもの。
- ②撮影者の許諾、肖像権など権利問題がなく公開できるもの。
- ③現岡崎市域で、平成 20 年頃までに撮影されたもの。

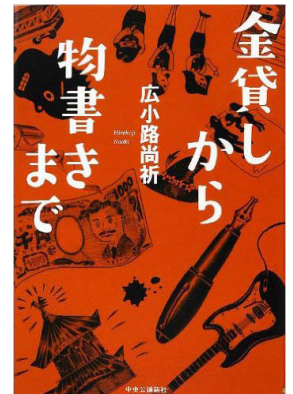
町並みだけでなく、お祭りや年中行事、家で行われた冠婚葬祭、初めてテレビやマイカーを購入した時など、何気なくくらしの写真をぜひご提供ください。応募方法は、市ホームページ電子申請総合窓口から写真データを添付送信。または、以下担当へ電話連絡の上、写真を持参してください。写真はスキャン後に返却します。詳しくは、りぶら内掲示のポスターやチラシをご覧ください。写真は、むかし館の展示などでご紹介します。たくさんのご応募をお待ちしております！

担当：中央図書館 企画班（電話 23-3167）

私の一冊 vol.35

「金貸しから物書きまで」

広小路尚祈 著 中央公論新社



稲垣 見和子
(いながきみわこ)
図書館勤務 5 年目。
主に 2 階ポピュラー
ライブラリーや市内
小学校等への貸出を
担当しています。

著者の広小路尚祈さんは岡崎市出身の作家です。平成 26 年 8 月の図書館まつりでは、作家の中村航さんとともに、講演会をしていただきました。岡崎市を舞台にした著書もあり、今回紹介するこの『金貸しから物書きまで』は豊橋市や浜松市が出てきます。そのため情景が浮かびやすく、自然に物語の中に入っていくことができます。

この本のストーリーは、言ってみればタイトル通りですが、物書きになるまでの経緯は順調ではありません。主人公は、今まで何をやっても続かず、仕事が嫌になったら逃げていた、金融機関に勤める広田伸樹。金融機関といっても、いわゆる「サラ金」で、日々新規顧客の獲得と返済の督促、そして支店長からの朝礼という名の叱責と闘っています。妻・清美と息子・幸平のためになんとか続けてきたこの仕事ですが、ついにこの仕事からも逃げてしまう日が…。分かっていてもつい逃げてしまう、俺はダメな人間だ、と落ち込む伸樹に、清美がかける言葉とは…？

伸樹がひとりで悩んでいるときはなんだか重

い気分になってしまいますが、そんなときでもあっけらかんとしている清美の姿に救われます。「なるようになる！考えたってしょうがないじゃない」という態度は諦めにも見えますが、「家族なんだから私もがんばるよ！」という家族愛からくる優しさです。優しくも強い支えとなっている清美がいるからこそ、伸樹は自由に生きていけ、そしてやっと物書きという新しい道を見つけることができます。

仕事を何度も辞めてしまうなんて、とんでもない生き方のように見えますが、本人と家族が楽しいと思えるなら、それもひとつの人生ではないかと思えます。人生難しく考えることばかりではないんだよと、心が軽くなる一冊です。

広小路さんの書籍は図書館 2 階ポピュラーライブラリーの単行本の棚のほか、岡崎市出身のかたなので、1 階レファレンスライブラリーの岡崎学のコーナーにも著書が置いてあります。この本のほかにも、芥川賞候補となった「うちに帰ろう」などの著書がありますので、ぜひ読んでみてください。

自分の命は、自分で守ろう！

10月4日（日）午前 3F 会議室
 「りぶらまつり 2015」実行委員会の防災講座に於いて
 あいち防災リーダー会西三河ブロック岡崎地区代表
 蜂須賀 博英

命を守るポーズ覚えて！

今、地震が起きたらどうしますか？
 すぐに外へ逃げ出しますか？
 その場でだんご虫のポーズをとりますか？

ひざをついて おしりむけて
 あたまもって だんごむし

防災を学ぶ大学生が、軽快な音楽に乗せて小さく丸まる安全姿勢の「だんごむしのポーズ」を、地震の揺れや落下物から身を守る体操として、子どもたちに身に付けてもらうために考えました。「一人でも多くの命を救いたい」という思いが形になったのが、「だんご虫のポーズ」です。あいちシェイクアウトで提唱している、身を守る安全行動に繋がるものです。地震の揺れを感じたら、身を守るための行動を取りましょう。



強い揺れが収まったら、避難行動に移るのですが、その時の約束が「おはしも」です。前の人が遅くても、**おさない**こと。周りの状況が把握できないので、**はしらない**。指示が聞こえないので、**しゃべらない**。忘れ物をして、**もどらない**ことが大切です。



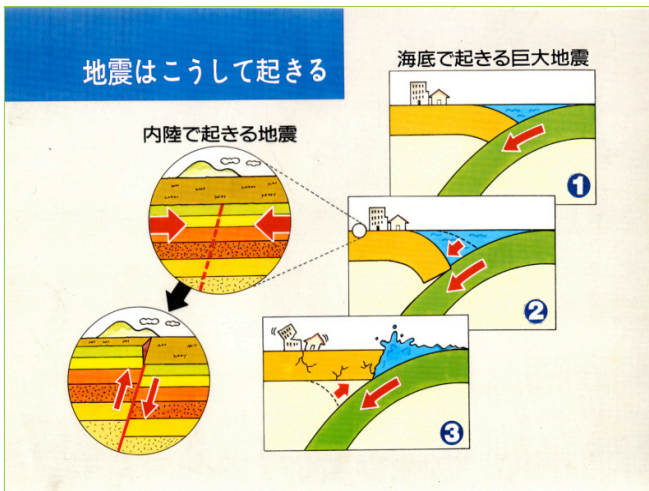
携帯電話や貴重品などは、身に着けているか、すぐに持って逃げられるように、そばにおいておく習慣をつけるとよいでしょう。できれば、背負える物にいれておくと、避難する時に両手が使えるので良いと思います。



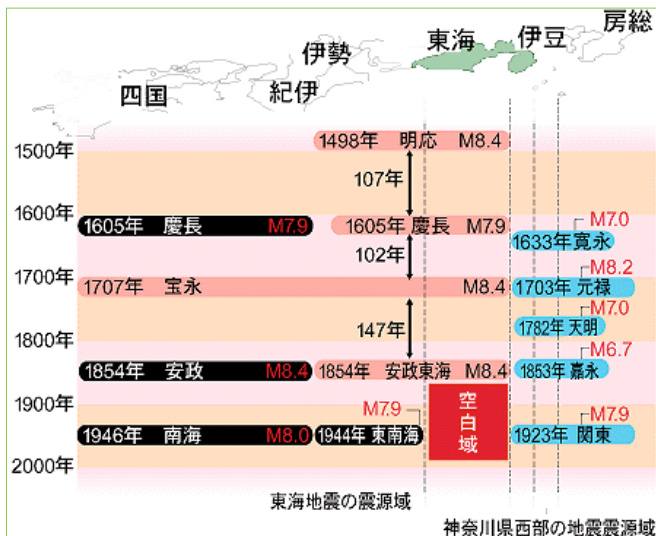
世界中で起きる地震の5分の1が日本で起きています。なぜ、そんなに多いのでしょうか？それは日本がプレートの重なるところにあるからです。地球の表面は、数枚のプレートでできていて、日本はユーラシアプレートと北アメリカプレートの上に載っていて、ハワイの方から太平洋プレートが毎年数センチくらいの速さで動いて来て、日本海溝のところで北アメリカプレートにぶつかり、その下にもぐりこんでいます。

また、南からはフィリピン海プレートが押し寄せてきて、南海トラフのところでユーラシアプレートの下にもぐりこんでいます。押し寄せて来た太平洋プレートやフィリピン海プレートが北アメリカプレートやユーラシアプレートにぶつかり、もぐりこんでいく時にプレートの端を一緒に引きずりこんでいきます。引きずり込まれたプレートは、もとにもどろうとしますので、そこにストレスが生まれてきます。それが限界になって、はねかえったり、壊れた時に地震が起き津波が起きます。





日本海溝や南海トラフでは、このように、プレートが引きずり込まれて、はねかえることが繰り返されているために、数十年から150年の間隔で地震が繰り返し起きているのです。南海トラフの東海地震域では、1854年の安政東海地震以来地震が起きていないので、東海地震がいつ起きてもおかしくないと言われて30年以上が経過していますが、これはもう起きないのではなくて、エネルギーが溜まり続けているので、いきなり大きな地震が起きる可能性があるのです。南海トラフの地震では、広い震源域から次々と波が生成されるため、広域で非常に長く揺れが続きます。多くの地域で3分~4分続くと言われてます。



岡崎市の想定震度は、6弱から6強で、一部で7のところがあります。これは、地盤の状態によって揺れる強さが違うためです。立っていることができない、這わないと動けないような強い揺れが4分も続くことを想像してみてください。地震が起きた時に身を守る行動ができるように訓練しておきましょう。

また、大きな地震では大揺れがおさまった後も「もう大丈夫」とすぐには安心できません。引き続き余震への警戒や二次災害の防止など、災害を最小限に食い止めるための十分な注意が必要です。

人が大勢集まる場所にいた時は、揺れがおさまるまで身をかがめ、持ち物や手で頭をかばいましょう。頭にケガをすると、すみやかな避難行動ができなくなってしまいます。また、出口に殺到することのないように、従業員やスタッフの指示に従って避難するようにしましょう。

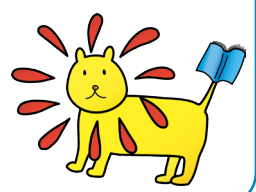
震度と揺れ等の状況(概要)

0 【震度0】 人は揺れを感じない。	1 弱 【震度1】 室内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	2 弱 【震度2】 室内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。	3 弱 【震度3】 室内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。
4 弱 【震度4】 ほとんどの人が驚く。 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 席の重い書物が、倒れることがある。	5 弱 【震度5弱】 大半の人が、恐怖を覚え、物につままりたいと感じる。 壁にある食器類や本が落ちることがある。 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものも倒れることがある。	6 弱 【震度6弱】 立つていない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることもある。 壁のタイルや壁ガラスが脱落、落下することがある。 耐震性の低い木造建築物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。	6 強 【震度6強】 揺れないと動くことができ、倒れるものもある。 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 耐震性の低い木造建築物は、傾くものや、倒れるものが増える。 大きな揺れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。
5 強 【震度5強】 物につまもらないと歩くことが難しい。 壁にある食器類や本で落ちるものが増える。 固定していない家具が倒れることがある。 増強されていないブロック壁が倒れることがある。	6 強 【震度6強】 耐震性の低い木造建築物は、傾くものや、倒れるものが増える。 耐震性の高い木造建築物でも、まれに傾くことがある。 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。	地震が起きたら ▶ あわてず、まず身の安全を!! ▶ 緊急地震速報を見聞したら <ul style="list-style-type: none"> 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難 運転中は、ハザードランプを点灯し、緩やかに減速 あわてて外に飛び出さない(落下物や車が危険) 近づくな、門や扉、自動販売機やビルのそば 揺れがおさまってから、あわてず火の始末 海岸でぐらつきたら高台へ あわてた行動、けがのもと 	

● 家族の密着化や家具の固定など、日頃から地震に備えましょう!!

国土交通省 気象庁 | 〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4 電話: (03) 3212-8341 (代表) | ホームページアドレス: <http://www.jma.go.jp/> | 平成21年3月31日

「りぶらまつり」の実行委員会では、参加者の皆様の防災意識を高め、まつりの当日に対処できるよう、「防災講座」の開催を続けています。まつり実行委員の多くは市民活動団体ですので、りぶら以外の施設での活動も多く、「りぶら」での防災講座の内容が、それぞれの会員やイベント参加者に広く伝わっていくことを望んでいます。





外国人が日本語の歌を歌うのだ自慢大会 vol.6 結果発表

2月20日(土)、第6回目となる「外国人が日本語の歌を歌うのだ自慢大会」が開催されました。大会の1週間前に行われた出演者とボランティアへの説明会では、ボランティアに出演者への聞き取りインタビューを行っていただき、大会の終了後には、それぞれが担当した出演者を応援しました、という声を聞くことができました。

毎回、レベルの高い大会になっていて、審査員の先生方には、点数をつけがたいと言われます。そんな中でも、会場を盛り上げるパフォーマンスと懸命さで、急遽特別賞の声も上がりました。また、今回初めてインドネシアから3名の参加があり、国籍の広がりもありました。

出演者の選曲は様々でしたが、多くの方が日本のアニメやTVドラマ・YouTubeで日本語や日本の歌を覚えたと言われ、文化と通信技術は、軽々と国境を越えていると感じました。

【司会】牧野順一

【審査員】 柏木典子 (岡崎音楽家協会代表)
浅井寮子 (リバーシブル編集長)
陽呼こじま (全国詩曲音楽連盟理事・作詞家)
石川啓二 (岡崎市文化芸術部長)
杉浦仁美 (LSC代表)

【ゲスト】タカミザワ マリー クリス (前年度優勝者)

【賞品】 優勝者賞：自転車&りぶらグッズ
審査員賞：ホットプレート&りぶらグッズ
入賞：図書券&りぶらグッズ
特別賞：お菓子&りぶらグッズ
参加賞：りぶらグッズ

【参加者】 出演者 13組 14名 ゲスト 1名
審査員 5名・司会者 1名
LSCスタッフ&サポーター 10名
Viva おかざき!! 2名 国際交流部会 2名
ボランティア 11名 職員 2名
来場者 200名

	出演者氏名	国籍	曲目	結果
1	趙明珠 (チョウメイジュ)	中国	エビカニクス	参加賞
2	フリスカ クリスタ アスリ	インドネシア	お疲れさまの国	参加賞
3	ユージー クリスファー エドワード	U.S.A	ルパン三世のテーマ 光の橋をこえて	入賞
4	陸 勁學 (ル ジン シウエ)	台湾	君が好きだと叫びたい	参加賞
5	北川 琢美 ファビオ	ブラジル	愛の鎖 男花	優勝
6	馬 秋実 (マ シュウ ジツ)	中国	花	参加賞
7	ルバリ グプタ リュウ シャオリ	インド 中国	Give me five	特別賞
8	ワヒュ ディン	インドネシア	紅蓮	参加賞
9	森口 モニカ (モリグチモニカ)	フィリピン	ノラ 愛の賛歌	入賞
10	国分 雅光	ブラジル	雨に咲く花 凍て鶴	入賞
11	アンディカ ジャル スンバダ	インドネシア	Journey through the Decade 3月9日	審査員賞
12	馬 微 (マ ウエイ)	中国	いい日旅たち	参加賞
13	符 賀龍 (フ ホロニ)	中国	北国の春	参加賞



↑優勝
北川 琢美 ファビオさん



↑特別賞：ルバリ グプタさんと
リュウ シャオリさん



↑審査員賞
アンディカ ジャル
スンバダさん